

# 2 YOUTUBE CHANNEL

勝山町並み体験クラフト市



YouTubeはこちらから



## at-home | Ako Miyazaki

### ● オリジナルハンドメイド布小物

実家が紳士服の仕立て屋だった影響もあり、幼い頃から布や針を扱うことに慣れていったという宮崎あこさんは、オリジナルのバッグや小物を制作するハンドメイド作家。手づくりの楽しさを伝えていきたいと、県北部を中心にイベントやマルシェへの出店、手づくり教室などを開催している。「人生の楽しみがひとつ増えるきっかけになれば」と、ものづくりが好きな方はもちろん、苦手と思っている人にも体験してほしい、とあこさん。今は大変な時だが、安心して楽しめる日が訪れたら(ものづくり時間)と一緒に過ごしたいと願っている。

\* 動画ではwakico.さんとのコラボ作品を紹介

<http://ww22.tiki.ne.jp/~at-home/>

<https://www.instagram.com/at.home.ako/>



## ギャラリーカフェ Blue Bee

| Gallery Cafe Blue Bee

### ● 動物のあかり

真鍮線と和紙を使ったオブジェは(あかり)を入れることでまた違った表情を見せてくれる。須藤富紀子さんは、ある日偶然テレビでその(あかり)を見て興味を持ったという。YouTube動画の撮影時はハシビロコウを制作中で、動物が好きな須藤さんは実物や動物図鑑を参考にしながら骨格を面で見え、創作していく。また、珈琲焙煎士でもある須藤さん。移住後、勝山町並み保存地区に2017年にオープンしたアトリエ&ギャラリーでは、自ら焙煎した豆を使用した珈琲を提供するカフェも併設している。クラフト市では型抜きした和紙を使用して、オリジナルの小さな干支のオブジェを制作できる。

岡山県真庭市勝山 195 0867-45-0323



## 平松竹細工店 | Hiramatsu Bamboo Crafts

### ● 勝山竹細工

真庭市月田の竹細工は、(勝山竹細工)として国の伝統工芸品に認定されている。平松幸夫さん、遥さん夫妻は、いにしえの実用民芸品が失われないよう、その技術を伝える担い手として取り組んでいる。丈夫で使いやすい竹細工を通して、先人の知恵が生活の中に活かされていることを知り、魅了されたという幸夫さん。現代の暮らしにも寄り添う竹製品を生み出しながら、竹のある日常を知ってほしいという思いからワークショップを開催。「もちろん、短時間で身につくものではないけれど、竹細工に触れる良い機会となれば」。そのなかで、竹林の保全を目的として、講習生とともに竹を選び、伐り出しなどの整備も行っている。

<https://www.facebook.com/hiramatsutakezaiku/>

<https://www.instagram.com/hiramatsutakezaikuten/>



## 郷原漆器生産振興会

| the Gōbara Lacquerware Production Promotion Association

### ● 郷原漆器

約600年続いてきた手仕事、郷原漆器。昭和20年に一度途絶えたが、蒜山の集落郷原の有志数名が平成元年に復活させた。高月国光さんは、平成15年から木地師として郷原漆器の館で製作に従事。「現在の郷原漆器には何も加飾がない。その分、工程一つひとつを大切にしている」。木地となる蒜山の「ヤマグリ」は、丈夫で美しい木目が特徴。手製のカンナと電動ろくろで一気に挽く。そして、漆塗りは木目を活かす繊細な作業が求められる。扱いにくいと言われる漆だが、長い歴史のなかで使われてきた素材でもある。「漆器は、一度使えばその良さを実感できるはず」と高月さん。日常的に使えば使うほど馴染んで艶やかになる。

<https://www.facebook.com/goubara.shikki/>



## 糸工図 | Itokozy

### ● 織り・糸、布を使った小物

「布はどのように出来ているのか、生活のなかで意識してもらえると嬉しい」と、染織家の加納一穂さん。ひのき草木染織工房の同僚・杉由香里さんと2013年にユニット結成。染織の工程で余る端切れや残糸を、甦らすことができればと思ったのがきっかけ。それらを使った、簡単にできるアクセサリやオーナメントづくりのワークショップを開催。「植物を煮出した染料で糸を染め、その糸で織った布。すべては自然からいただいたもの」。だからこそ愛おしく、余すことなく大切に活かしていきたいという。二人とも子育て真っ最中。日頃の暮らしも共有できる関係ゆえに、生まれてくるものもある。さらに、糸選びや織機の扱い方など、織りを始めたい人の相談にも応え、織り仲間を増やす活動にも力をそそぐ。



## まにわ発酵's | Maniwa Haccos

### ● 食を通じて発酵文化を伝える

昔から息づいていた真庭市の(発酵食文化)を広めようと、企業の若手後継者が集まり2012年に結成。メンバーは河野酢味噌製造工場、御前酒蔵元辻本店、農業生産法人ひるぜんワイン有限会社、落酒造場、蒜山ラッテパンピーノ、IL RICOTTARO、美作ピアワークスの7社。2019年には、生産者を訪ねて真庭の発酵文化を学ぶツアー「Maniwa HACCOS Tourism」を企画。今年は、自宅で蔵見学やメンバーによるトークを視聴しながら、試飲&試食ができるオンラインツアーを開催。発酵食材を通じて真庭地域の認知度を高め、国内はもちろん、世界中からの来訪者増加を目指す。クラフト市では、地元の飲食店と共同開発して(発酵ランチ)を提供している。

<https://www.facebook.com/maniwahaccos>



Craft Workshop 2020  
in Katsuyama Old Town

ものづくりの表現はそれぞれの作品だけではありません。つくり手たちのコラボレーション映像。



## コラボレーション

地元の豊かな自然や歴史的な遺産などをベースにしながら、ものづくりを発信し続けているクラフト市。今年から地域おこし協力隊として真庭で活動を始めた池田将さんとその仲間たちが、クラフト市の趣旨に賛同して制作した動画。新鮮な眼差しで表現される町並みは、懐かしくもあり、新しさも感じられる。勝山に流れる音風景と、その音に心躍らせる即興のダンスが奏でる世界とは。メイキングムービーも必見。

